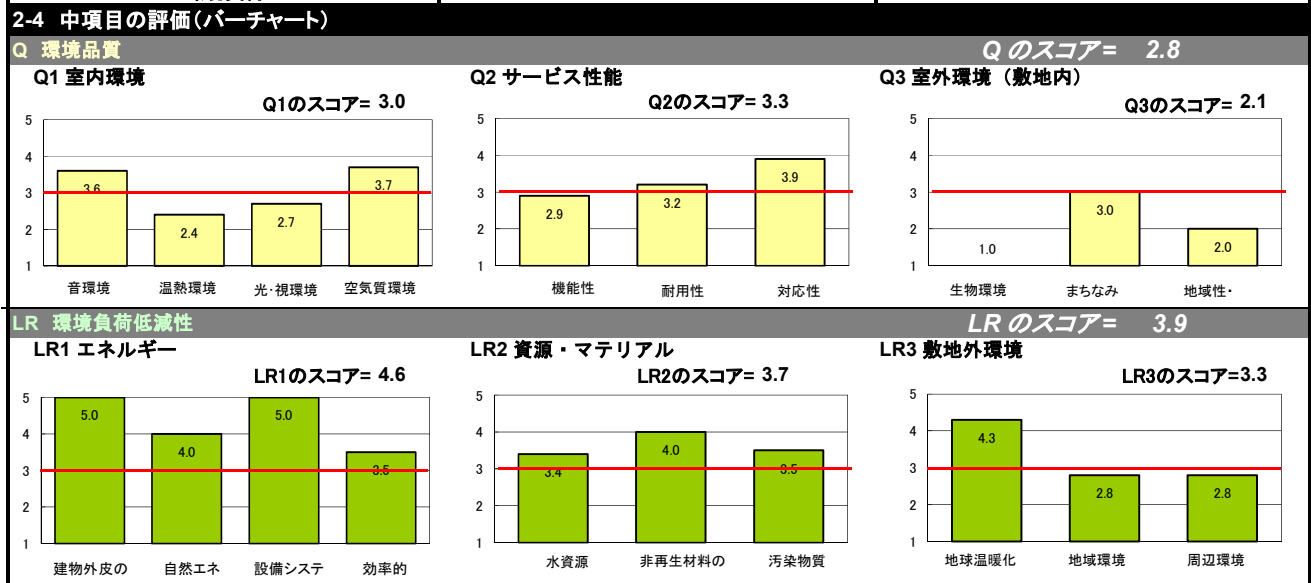
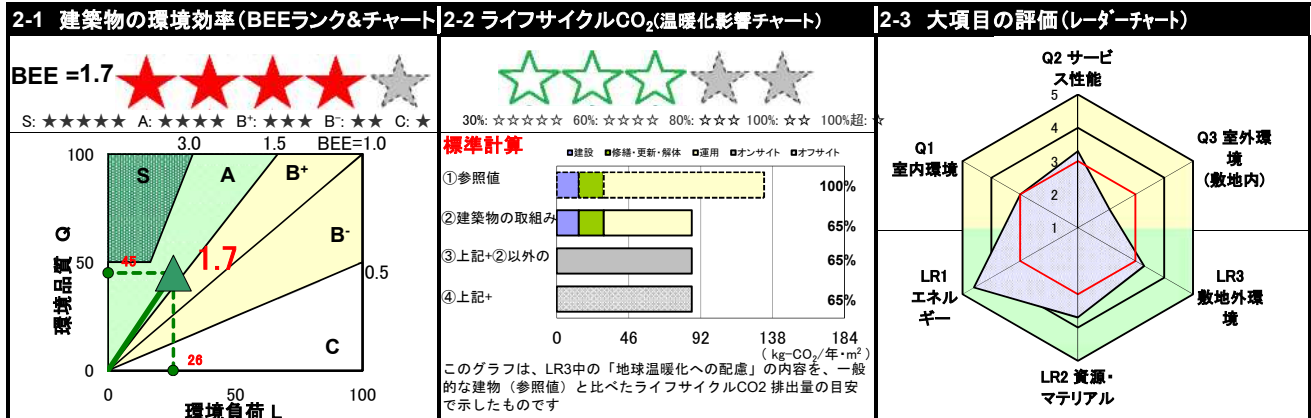


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	三菱電機電子通信システム製作所	階数	地上8F	
建設地	兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1番地	構造	S造	
用途地域	工業地域、第1種住居地域	平均居住人員	1,665 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2025年1月27日	
敷地面積	380,204 m ²	作成者	株式会社三菱地所設計関西支	
建築面積	4,225 m ²	確認日	2025年3月18日	
延床面積	27,627 m ²	確認者	株式会社三菱地所設計関西支	



3 設計上の配慮事項			その他
総合 事務所の利用者への快適な職場環境を図ると共に、効率の良い設備を採用することで省エネルギーに配慮した建物としている。			特になし。
Q1 室内環境 トップライト等、昼光利用設備を取り入れ、遮音性能の高い計画としている。		Q2 サービス性能 利用者が快適に過ごせるようにリフレッシュスペースや十分な開口部を設けた計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEIm、BPIImが低くなるよう計画している。		LR2 資源・マテリアル リサイクル材や再利用可能な部材を採用しているほか、フロンを回避した消火剤、断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を採用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される